右ノ條件ヲ無事解決シタ。
十八日午前十一時ヨリ前日ノ交渉ヲ續ケル事トシ終局午後六時頃打切リタリ。
協點ヲ發見セズ更ニ十八日交渉ヲ續クル事ニシ午后十二時會見ヲ
ヲ支給スヘシト答ヘ勞資双方約二時間ニ渉リ交渉ヲ續ケタルモ埒
ス有ニ二日分退職手當ハ止之ヲ得ザルモノニ限リ解雇手當ノ半額
之ニ對シ會社側ハ解雇手當ハ一ケ年未滿四十日分以上一ケ月ヲ増
テタリ。
セラレタク尚退職手當ハ解雇手當ノ半額ヲ支給セラレ度シト申出
ニ日給二日半、三ケ年以上ハ一ケ月毎ニ三日ヲ加算
解雇手當勤續一ケ年未滿四十日分、二ケ年迄ハ一ケ月ヲ増ス毎
案トシテ
差ハ一應退出ノ上午后九時ヨリ再會見ヲシ職工側ヨリ最後ノ讓歩
於テ持出來ル丈ノ讓歩案ヲ示サレタシト述ヘタルヲ以テ職工側代

記

一、十九名ノ解雇者ニ對シ會社側ハ参千圓ヲ支給シ
其割當ハ在職一ケ年未滿ノモノニハ四十日分
一ケ年以上三ケ年未滿ノモノニハ一ケ月ニツキ日給二日分半
三ケ年以上ノ者ニハ一ケ月ニツキ三日分支給スルトキ
二、解退手當ニツイテハ近キ將來ニ會社側ト組合側トノ協議ニ依ツテ其數字ヲ取定メルコト
三、固定數ノ保證ヲ確立スルコト
四、兵役ニ關シテハ三週間ノ復習ト簡閲點呼トニハ給料ノ半額ヲ支拂フ、二ケ年現役就役ノ場合ハ終了後直チニ會社ニ於テ復職サスコト